

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	向小金雨水幹線整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	向小金2、3丁目の市民	意図	・向小金雨水幹線を延伸し、向小金2、3丁目の浸水被害を防ぐ。
事業内容	向小金雨水幹線整備事業のうち、JR常磐線軌道下横断工事を実施する。また、既設雨水幹線との接続部において、合流現場打ち人孔の築造工事を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年5月に下水道事業認可を取得。 平成24、25年度に債務負担行為で支障となる水道管の移設工事をJR東日本に施行委託。 平成26、27年度に市道部雨水幹線工事を実施。 平成28年度にJR常磐線軌道下横断工事をJR東日本に施行委託。（平成29年度に繰越） 平成29年度に軌道下の横断工事が完了し、既設雨水幹線との合流人孔の躯体が完成。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	向小金雨水幹線整備率	36	57	57	%	↑↑↑	整備済延長÷全体整備延長(358m)
②	設計業務委託成果	0	0	0	業務	↓↓↓	実績値6(全6業務)	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年度からの繰越事業として、JR常磐線軌道下横断工事が平成29年度に完了した。 ・平成29年度に既設雨水幹線との現場打ち合流人孔の築造工事を実施した。 ・平成31年度以降に県道部（県道松戸柏線）の工事着手予定。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		264,361,900	36,282,560	341,207,030				
事業費(b)(円)		256,831,900	29,417,560	334,495,030				
うち一般財源		89,231,900	6,917,560	17,495,030				
職員給与と費(c)(円)		7,530,000	6,865,000	6,712,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	JR常磐線の近接施工となることから、工事を順調に進めるために関係機関との調整を図る。	③取組の課題	軌道下の横断工事が夜間工事となることから、周辺への影響が大きく、地元住民への十分な工事周知が必要。
②今年度(H29)に実施した取組	地元住民に対して事業内容について周知した。	④今後(H30以降)の改善計画	交通量の多い県道部における連続的な開削工事になることから、沿線住民に施工方法、施工時期について周知する。